

# あさか健康プラン21推進事業

## 朝霞市健康づくり課

朝霞市では、あさか健康プラン21第1次計画で市民健康意識調査を行ったところ、健康づくり活動に参加しないとの回答が22.0%だった一方で、スポーツ活動には32.7%、ボランティア活動には13.2%が参加意向を示していたため、他課との連携に重点を置き、保健センターでは出会えない層へのアプローチを強化することとした。また、健康あさか普及員の登録を市在住職員にも促し、異動先まで追いかけて、新たな課との連携を図った。

### 概要 体制

・あさか健康プラン21第1次計画で市民健康意識調査を行ったところ、健康づくり活動への参加意欲が低い一方、スポーツ活動には32.7%、ボランティア活動には13.2%が参加意向を示していたため、第2次計画では、①健康あさか普及員の拡大、②健康まつりへの他課等の参加、③各課所管イベント等での健康ブースの設置、④民間企業等との連携を掲げ、他課との連携に重点を置くことにした。また、健康あさか普及員の登録を市職員にも促すこととし、人事異動先にも追いかけて連携を促進した。

### 背景 課題

・健康づくり課だけでは、リピーターなど一部のひとしか接点を持てず、健康に関心がない人たちへのアプローチに限界がある。  
・市民健康意識調査では、健康づくり活動に参加しないとの回答が22.0%に達していた一方、スポーツやボランティアへの関心は高かった。

これまで接点のなかった  
健康に関心のない人へ  
アプローチ!

健康あさ  
か普及員  
の拡大

健康まつり  
への他課等  
の参加

各課主催イ  
ベント等での  
ブース設置

民間企  
業等との  
連携

あさか健康プラン21第2次計画

健康づくり活動したいと思わない  
22.0%

スポーツしたい 32.7%  
ボランティアしたい 13.2%

健康部門では、健康に関心のある人  
やリピーターにしか関われない!

あさか健康プラン21第1次計画

### 関係各課 との連携

生涯学習・スポーツ課  
市民体育祭等に健康ブース  
出展、健康づくりPR

公民館(教育委員会)  
講座の時間を15分もらい、社  
会参加の健康効果などを紹  
介、健康講座数が増加

みどり公園課  
公園遊具の設置で意見交換、  
介護予防効果のある使い方  
の説明会、体験会で協働

産業振興課  
所管する花まつりや農業祭へ  
の健康ブースの出展

地域包括支援センター  
高齢者向けの健康相談やイ  
ベントへの協力

\* 労力のかからない関わり  
方を心がけ、保健センターか  
らは人材を派遣

### 健康あさか 普及員の拡大

市職員も普及員になれる  
ため、積極的に“営業”  
登録後、連携を打診。人  
事異動後も異動先まで追  
いかける。異動を逆手に。

①健康あさか普及員意見  
交換会の実施、②健康ま  
つりへの協力、③市内イ  
ベント等での健康づくり  
ブースの設置、④健康づく  
り情報の発信、⑤民間企  
業や他機関との協働など

平成25年の120人から、  
平成30年度10月時点で  
360人へ拡大

普及員登録した市職員を  
異動先まで追いかけて連  
携を打診

他課主催イベントへの協  
力等を通じ、広くPRでき  
新たな普及員の幅も拡大

### 健康づくり課の連携機能・役割

- ・健康意識調査で健康づくり活動への参加意向が低かったことから、健康に関心がない人たちへのアプローチに限界があると捉え、他課連携のきっかけとして、連携の強化を図った。
- ・他課主催イベント等に健康ブースを出展したり、健康あさか普及員が参加したりすると、盛り上がるので喜ばれる。それにより、本格的な連携を依頼しやすい関係づくりをしている。
- ・他課に連携を打診する際に健康あさか普及員の登録というカードは、声をかける口実になり、とても使いやすかった。
- ・健康あさか普及員に登録した市職員を人事異動先まで追いかけて連携を打診するなどして連携を拡大した。
- ・他課との連携にあたっては、手間のかからない関わり方を心がけ、健康づくり課からは専門職や健康あさか普及員の派遣をしている。

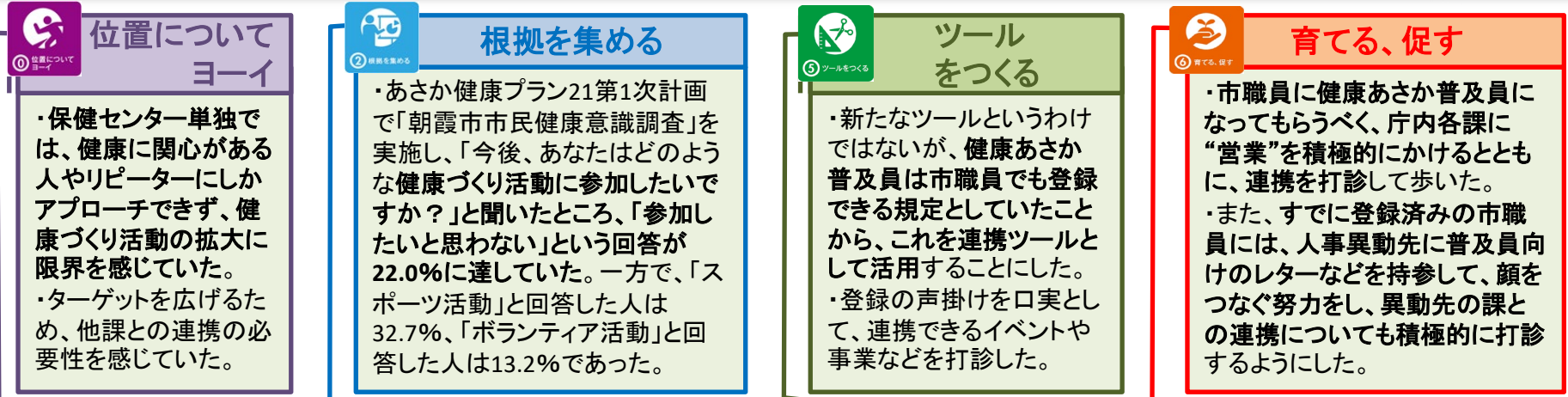
### 効果 成果

- ・他課主催イベント等に関わることで、普段出会えない層と接点を持てるようになった
- ・それにより、改めて健康づくり普及のPRができた。
- ・市職員も健康あさか普及員に登録できるので、それを活用し、庁内連携のきっかけとした
- ・他課との連携などにより、平成25年度に120人だった健康あさか普及員の登録者数は、平成30年10月時点で360人に拡大。人材の多様性も拡大した。
- ・あさか健康プラン21(第1次)の数値目標も、運動習慣者割合など13項目が改善した。

### ポイント

- 健康意識調査で健康づくりへの参加意向が低かった点を他課連携のきっかけとした、
- 他課主催イベント等への協力で喜ばれることを本格的な連携につなげる、●健康あさか普及員に登録した市職員を人事異動先まで追いかけて連携を打診した

# あさか健康プラン21推進事業 朝霞市健康づくり課(連携体制構築に向けたプロセス)



**位置について ヨーイ**

- 保健センター単独では、健康に関心がある人やリピーターにしかアプローチできず、健康づくり活動の拡大に限界を感じていた。
- ターゲットを広げるため、他課との連携の必要性を感じていた。

**根拠を集める**

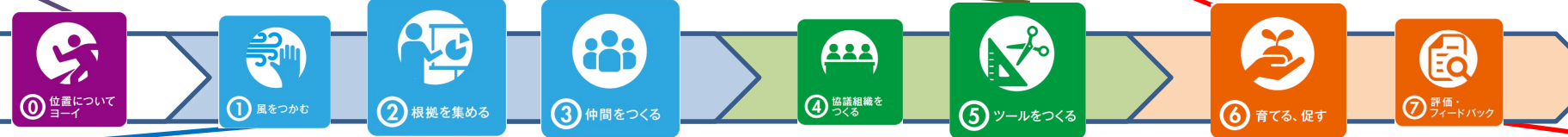
- あさか健康プラン21第1次計画で「朝霞市市民健康意識調査」を実施し、「今後、あなたはどのような健康づくり活動に参加したいですか?」と聞いたところ、「参加したいと思わない」という回答が22.0%に達していた。一方で、「スポーツ活動」と回答した人は32.7%、「ボランティア活動」と回答した人は13.2%であった。

**ツールをつくる**

- 新たなツールというわけではないが、健康あさか普及員は市職員でも登録できる規定としていたことから、これを連携ツールとして活用することにした。
- 登録の声掛けを口実として、連携できるイベントや事業などを打診した。

**育てる、促す**

- 市職員に健康あさか普及員になってもらうべく、庁内各課に“営業”を積極的にかけるとともに、連携を打診して歩いた。
- また、すでに登録済みの市職員には、人事異動先に普及員向けのレターなどを持参して、顔をつなぐ努力をし、異動先の課との連携についても積極的に打診するようにした。



**風をつかむ**

- あさか健康プラン21第2次計画の策定にあたり、活動拡大のため積極的に他課等と連携する方針を固めた。
- 他課が主催するイベント等を介して、これまで接点のなかった人たちが、健康にあまり関心のない人たちにアプローチすることにした。

**仲間をつくる**

- 健康づくり課内で協議し、活動拡大のため、①健康あさか普及員の拡大、②健康まつりへの他課等の参加、③各課所管イベント等での健康ブースの設置、④民間企業等との連携をあさか健康プラン21第2次計画で推進することを決めた。
- 健康づくり課では、年4回程度、他課イベントに協働するという目標を立て、積極的に連携することにした。
- とくに協議組織は立ち上げていないが、生涯学習・スポーツ課、みどり公園課、産業振興課、長寿はつらつ課、公民館などとの連携は図っている。

**評価・フィードバックする**

- 他課との連携などにより、平成25年度に120人だった健康あさか普及員の登録者数は、平成30年10月時点で360人に拡大した。
- 他課との連携に関しては、例えば公民館の講座で15分もらい、社会参加の健康効果等を説明した結果、出張型の健康講座の機会が増加した。

**人材育成の意識**

- 市職員に健康あさか普及員の登録を打診しながら、広義の健康の意義についても話し、理解者を増やすように心がけた。
- 他課行事等で接点を持ち、健康あさか普及員に登録する人が増え、人材の拡大とさらなる交流でより大きな力になることを期待。